

TRANSLATION OF CITED REFERENCE 2

Patent Application Laid-open Publication

No. S51-78490

Publication Date: July 8, 1976

Title of the Invention: BUTT-FOLD ADHESION DEVICE

Application No. S50-1214

Application Date: December 27, 1974

Inventors: Kouichi Tanigawa, et al.

Applicant: OM Manufacturing Co., Ltd.

Claim

A butt-fold adhesion device characterized by a pair of openable and closable heater blocks, collection arms rotatably attached to the heater blocks with inward pressing force acted on tip portions by spring members, and a mid-divider plate disposed at an abutting position of contact faces of the heater blocks and movable back and forth, wherein by closing operation of the heater blocks, open portions of package paper, plastic film or the like wound around a body of an article to be packaged in a semicircle manner are closed along the periphery of the packaged article by the collection arms, a joint of the package paper is moved inward by the heater blocks to be brought into contact with opposite side faces of the mid-divider plate in a butt manner, the mid-divider plate is retreated immediately

before the heater blocks are closed up, and the joint of the package paper is butt-folded and bonded by contact faces of the heater blocks.

Detailed Description of the Invention

(Translation of relevant description on page 1, right lower column, lines 2 to 5)

The present invention relates to a device for butt-folding and bonding a joint of package paper wound around a body of a cylindrical laminate such as a cap for a can formed by laminating a plurality of thin disks.

Brief Description of the Drawings

Figure 1 is perspective view of packaging equipment with the device according to the invention disposed at a package paper adhesion position, Figure 2 is a plan view of the device according to the invention, and Figure 3 is a sectional side view of Figure 2.

(1) ... cylindrical laminate, (5) ... package paper, (17) ... heater block, (18) ... contact face, (21) ... collection arm, (26) ... spring, (27) ... mid-divider plate



日本特許

2千円

(2,000円)

特許願

昭和49年1月27日

特許庁長官、斎藤英雄 聞

1. 発明の名称 合掌折り接着装置

2. 発明者

住所 兵庫県川西市相和台東4丁目3番地の3/4-203
 氏名 谷 川 光一

3. 特許出願人

住所 大阪府大阪市北区梅田七番地の三
 氏名 株式会社 オーエム製作所
 代表者 浜 庄 駿 吉

4. 代理人

住所 大阪府大阪市西区土佐堀町23番地
 氏名 (3451) 農原秀一
 (1名)

5. 添付書類の目録

(1) 明細書	1通
(2) 図面	1通
(3) 願書副本	1通
(4) 委任状	1通

50 001214

明細書

1. 発明の名称

合掌折り接着装置

2. 特許請求の範囲

一对の開閉自在なヒータブロックと、上記ヒータブロックに回動自在に取付け且つバネ部材により先端部に内方への押圧力が作用せしめられるコレクションアームと、上記ヒータブロックの接触面の当接位置に配設した前後方向に移動可能な中仕切板とからなり、ヒータブロックの開動作で、被包物の胴部に半円状に巻き付けた包紙又はプラスチックフィルム等の開いた部分をコレクションアームで被包物の周面に沿わせながら閉じ、ヒータブロックにより包紙の合せ目を内方に移動させて中仕切板の両側面に合掌状に接触させ、ヒータブロックの閉じる寸前に中仕切板を後退させて、ヒータブロックの接触面で包紙の合せ目を合掌折りして接着する様にしたことを特徴とする合掌折り接着装置。

⑯ 日本国特許庁

公開特許公報

⑮ 特開昭 51-78490

⑯ 公開日 昭51.(1976)7.8

⑰ 特願昭 50-1214

⑱ 出願日 昭49.(1974)12.27

審査請求 有 (全5頁)

庁内整理番号

6519 38

6519 38

⑯ 日本分類

134 A311
134 A301.2⑮ Int.CI²B65B 11/28
B65B 49/00
B65B 51/10

3. 発明の詳細な説明

本発明は円柱体、特に缶詰用の缶蓋の如き薄い円盤を多段積み重ねた円柱状積層体の胴部に巻き付けた包紙の合せ目を合掌折りして接着する装置に関するものである。

従来缶詰用の缶蓋の如き薄い円盤を多段積み重ねた円柱状積層体を包装する場合、予め用意した封筒に所定個数の缶蓋を入れ、その袋を折り疊んで包紙したり、或いは、円柱状積層体に包紙を周巻きにし、その合せ目を重ねて糊付け若しくはヒートシールすることにより包紙していた。ところが、前者の方法では封筒に円柱状積層体を入れるときに崩れ易く、包紙が困難であつた。また、後者の方法では個々の円盤がずれると接着むらが生じ、正確且つ体裁よく包紙することが困難であつた。

本発明は上記の欠点に鑑み、これを改良したもので、開閉自在の一対のヒータブロックにコレクションアームを回動自在に取付け、当該コレクションアームの先端部分にバネにより内方

への押圧力を作用せしめ、且つヒータブロックの接触面の当接位置に前後方向に移動可能な中仕切板を配置し、上記ヒータブロックの閉動作で、円柱状積層体（以下円柱体）の洞部に半円状に巻き付けた包被紙の開いた部分をコレクションアームで円柱体の周面に沿わせながら閉じ。ヒータブロックにより包被紙の合せ目を内方に移動させて中仕切板の両側面に合掌状に接触させ、ヒータブロックの閉じる寸前に中仕切板を後退させて、ヒータブロックの接触面で包被紙の合せ目を合掌折りして接着する様になしたものである。

以下本発明の構成を図面に示す実施例について説明すると次の通りである。

オノ図は包被装置の斜視図を示すもので、円柱体(1)を保持するためのホルダー(2)を所定方向に回転運動するターンテーブル(3)上に等間隔に設け、当該ホルダー(2)を包被開始位置(4)、オノ無包被位置(5)、包被紙接着位置(6)、オフ無包被位置(7)、折込位置(8)及び包被終了位置(9)に

対応させてある。上記包被紙接着位置(6)と包被終了位置(9)との間にガイド(10)を設け、また、上記ターンテーブル(3)の外側方で且つオフ無包被位置(7)の後方部にロール状の包被紙(11)又はプラスチックフィルム紙を支持し、ダンサローラ(12)及びターンテーブル(3)上方に設けた送りローラ(7)(8)により上記包被紙(11)を包被開始位置(4)に位置するホルダー(2)の前面に垂直に給送する。包被紙(11)がヒートシール不可能な材料の場合は、その給送過程においてホットメルツガン(13)により包被紙(11)の側面に接着剤を散布する。上記送りローラ(8)の下方にカッター皿を設けし、給送されてくる包被紙(11)を包被に必要な所定の長さに切断する。カッター皿の下方には包被紙(11)の両側面に案内ガイド（図示せず）を配備し、垂直状態の包被紙(11)が横方向に移動しない様にしてある。

オフ図及びオフ図は上記包被紙接着位置(6)に位置するホルダー(2)の外側直角方向に設置した本発明に係る合掌折り接着装置(14)を示すもので

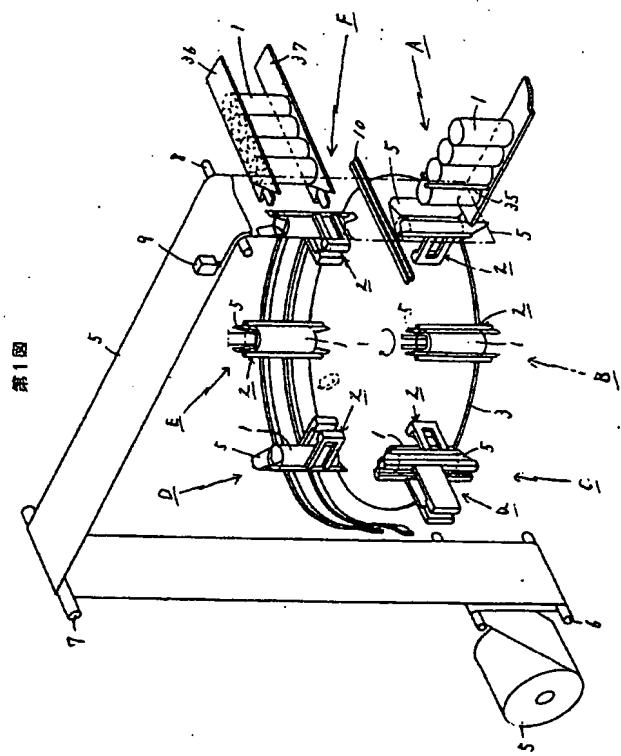
。孔を有する基台(15)上に回転した一对の凹側凹部(16)に軸(17)を回転自在に夫々挿入する。この軸(17)の上方部に一片のアーム(18)の基部を嵌入してボルト(19)にて固定する。軸(17)の下端部分には夫々セクタギヤ(20)を取り付け、このセクタギヤ(20)を任意の手段で所定方向に回転させることにより軸(17)を介してアーム(18)を往復回動させる。上記の一对のアーム(18)の先端内側にヒータブロック(21)を夫々固定する。このヒータブロック(21)は包被紙(11)の合せ目を合掌折りして接着するためのもので、綫長で且つその接触面(22)の後方部を夫々切欠き、ヒータブロック(21)の閉じた際、端部を後側面に開放した空隙部が形成される様にする。上記ヒータブロック(21)の上下に設けた突出部間に一对のコ字型のコレクションアーム(23)をビス(24)にて回動自在に取付け、その前端部の円柱状部分(25)をヒータブロック(21)の前方に位置せしめる。このコレクションアーム(23)はヒータブロック(21)の閉動作時その円柱状部分(25)により包被紙(11)のシワ・タルミを除去する

ためのもので、その後端部とアーム(18)に固定したブレケット(26)との間にベネッセンス(27)を張設し、先端部の円柱状部分(25)に内方への押圧力を作用させる。また、ヒータブロック(21)の上面内側部にストップバシを突設し、上記ベネッセンス(27)の引張力によりビス(24)を支点として回動するコレクションアーム(23)の円柱状部分(25)の内方への回動を規制する。上記ヒータブロック(21)の接触面(22)の当接位置に縦長の中仕切板(28)を配備する。この中仕切板(28)は上記ヒータブロック(21)及びコレクションアーム(23)により中央に寄せられる包被紙(11)の合せ目を、その両面に接触させて合掌折りを正確且つ容易に行なうためのもので、前後に往復移動し、前进時は前端部が円柱体(1)に接し、後退時は上記ヒータブロック(21)の空隙部に位置する様にしてある。即ち、支持台(29)上に固定部材(30)を固定し、当該固定部材(30)の上方にアーム(31)を介して可動板(32)を平行に支持し、且つアーム(31)を軸(33)を介して回動自在になす。上記可動板(32)の上面に中仕切板(28)を突設し、アーム(31)

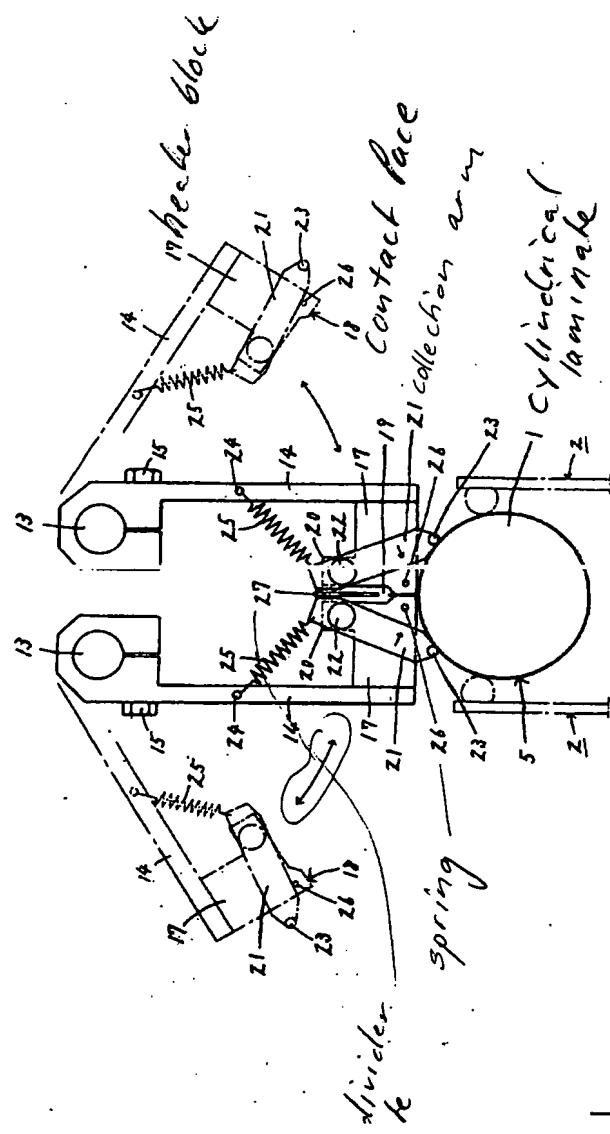
本発明に係る装置の平面図であり、オフ図はオ
フ図の側断面図である。

(1) ...円柱状積層体、(6) ...包装紙、(7) ...
ヒータプロック、(8) ...接触面、(9) ...コレク
ションアーム、(10) ...バネ、(11) ...中仕切板。

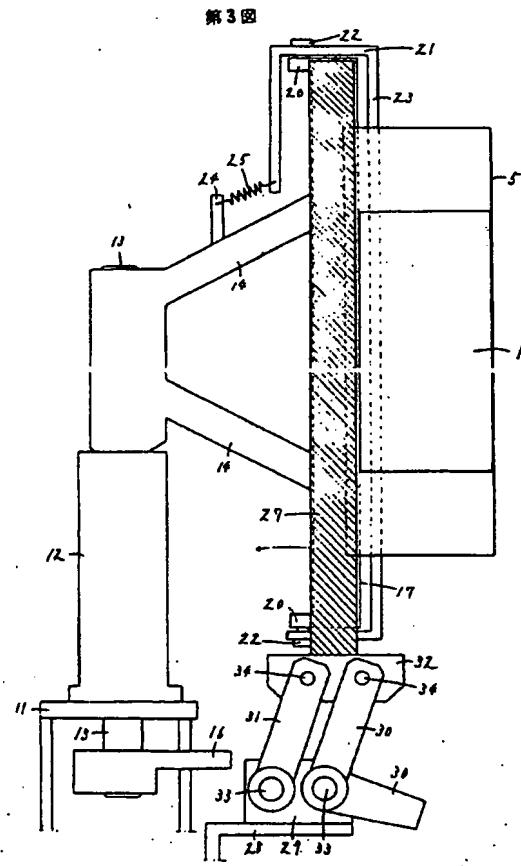
特開 昭51-78490(4)



第1図



第2図



第3図

6. 前記以外の発明者及び代理人

(1) 発明者

アーラナキレニシナニワチヨウ
住 所 兵庫県尼崎市西難波町2-26-27
氏 名 野 中 弘 幸

(2) 代理人 宇550

住 所 大阪府大阪市西区土佐堀町23番地
大阪商工ビル7階
氏 名 (6458) 辦理士 江 原 省吾 